

■社会福祉施設等の節電行動計画フォーマット

別紙1

施設名	ふれ愛の郷	責任者名	塩田 政幸
節電目標	24,632Kwh	節電実績	

基本アクション

		実行 チェック
照明	<ul style="list-style-type: none"> 事務室の照明を半分程度にする。 居室以外のエリアの照明を間引きする。 使用していないエリア（玄関、ロビー等）は、消灯を徹底する。 	✓
空調	<ul style="list-style-type: none"> 使用していないエリアは空調を停止する。 居室、廊下、事務室等エリア毎に適切な温度設定を行う。 日射を遮るために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム等を活用する。 	✓
OA 機器	<ul style="list-style-type: none"> OA機器の管理を徹底する。 必要がない場合は窓や出入り口の開け放しをしない。 	✓

メンテナンスや日々の節電努力

		実行 チェック
照明	<ul style="list-style-type: none"> 照明機器の定期清掃を行う。 従来型蛍光灯をLED照明に交換する。 夜間の照明管理の徹底をする。 可能な限り天井照明を消灯し、スポット照明を利用する。 	✓
空調	<ul style="list-style-type: none"> フィルターを定期的に清掃する（2週間に一度程度が目安）。 各種出入り口、搬入口の扉等を必ず閉め冷気流失を防止する。 給湯循環ポンプの流量を確認し、流量の削減を徹底する。 調理機器、冷蔵庫の設定温度が必要な温度に対して、高すぎたり低すぎたりしないように確認する。 日中の電力消費のピーク時間帯は、居住エリアを限定して空調負荷を集中させる。 	✓
その他	<ul style="list-style-type: none"> 窓側にゴーヤ、ヘチマ、朝顔などのグリーンカーテンを作る。 窓のブラインド、カーテンの開閉管理を徹底する。 水遊びなどの涼しくなる遊びを取り入れる。 自動販売機の管理者に冷却停止時間の延長等の協力を求める。 エレベーターが複数台ある場合、日中は一部停止する。 待機電力を削減する。 消費電力の大きい電気製品は平日の日中を避けて使う。 昼食・夕食の調理時間の柔軟化を検討する。 クールビズ対策の徹底。 	✓

職員及び利用者への節電の啓発

		実行 チェック
節電 啓発	<ul style="list-style-type: none"> 節電リーダーを選出し、具体的な取組を行う。 朝礼時に毎回節電のアナウンスをして意識付けを行う。 施設全体の節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し実施する。 管理部門の節電対策（エレベーターの一部停止等）。 ピーク期間（7-9月平日の9時～20時）には、一斉放送により一層の節電を呼びかける。 	✓

※ご注意　・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上等不適切なものとならないようご注意下さい。